



発行所 東京薬科大学
責任者 中道博之



来年度入学生より

学費値上げ!?

去る十月十九日と十月二十七日の二回にわたって一一一教室にて平成二年度学費改訂について「学内協議会」が行われた。

ここでは十月十四日に行われた「財政説明会」において理事会から提示された来年度新入生からの学費値上げ(入学金一〇万円u.p、授業料二〇万円u.p)についての協議が行われた。

ここで、この学費値上げ問題を財政説明会を中心に順を追って振り返ってみよう。

◎平成元年六月一七日
学生側に理事会で学費値上げの方針決定の旨知らせられる。

この日行われた学生部との懇談会において、学生部長より理事会において平成二年度入学生より学費を数十万円値

上げる方針が決定された。
②正式には、教授総会等で値上げ額まで決定した後に学生向けに公示する。
③今秋までに、理事会、教職員、学生で三者会談を行いそのでの合意により正式決定する。

◎七月五日
学生大会において学費値上げ反対方針の議案が決議される。

平成元年度前期学生大会での第五号議案「学費値上げについて」が決議された。

この時初めて理事会の学費値上げの意向が学生に伝えられた。
この話があらた。
この時初めて理事会の学費値上げの意向が学生に伝えられた。

◎十月一四日
理事会主催で財政説明会が行われる。

この財政説明会(平成二年度学費改訂についての説明会)において学生側に初めて平成二年度入学生からの値上げ予定額が公表された。それによりと、入学金三十万九千円(十萬九千円u.p)、授業料百万円(二十万円u.p)の合計三十万九千円の値上げの予定である。

この説明会においての永嶋

費の高騰を考えたも額が大きすぎる。
この理由で、値上げの詳細な理由の説明を大学側に求めていき、学費値上げに反対するという学生自治会の方針が決定された。
この後、執行委員会、自治委員会では学校の収支についての分析をはじめることとなる。

◎十月十九日、二十六日
学内協議会が二度にわたって行われる。

この学内協議会は学生自治会が財政説明会の参加に際して学内協議会開催を条件としてつけたため行われたもので

ある。
この会議中で、教職員側から学生にとつて頼もしい意見がでた。(要約)

東薬にきたという人がアンケート以上に多いと思う。三十万円という学費の値上げに対して猛烈な反対が教職員側からでている。理事、法人側からの経理説明で三十万円でも足りないとあつたが教授会でかなり反撃をくらって入学金十万円、授業料に十万円、となつて正式にできてきたと僕はお聞きしている。大学の存続とよい大学にする支出が例えば、二十万円の値上げではできない。学費値上げによつて志願者が減る、質が落ちるとかあるかも知れないが、その犠牲を払ってでも決意されたのでと思う。だが、将来に対する見通しをきちんともつてなかつたのではないか。

その一方で、学生側からナセンズ極まりない質問もでた。(要約)

植物園に東薬祭の時入つてみて、これで研究できるのかと思つた。植物園も必要だが、学生には必要だと思える。大学とは研究と教育の二本(二面に続く)

ある。
この会議中で、教職員側から学生にとつて頼もしい意見がでた。(要約)

東薬にきたという人がアンケート以上に多いと思う。三十万円という学費の値上げに対して猛烈な反対が教職員側からでている。理事、法人側からの経理説明で三十万円でも足りないとあつたが教授会でかなり反撃をくらって入学金十万円、授業料に十万円、となつて正式にできてきたと僕はお聞きしている。大学の存続とよい大学にする支出が例えば、二十万円の値上げではできない。学費値上げによつて志願者が減る、質が落ちるとかあるかも知れないが、その犠牲を払ってでも決意されたのでと思う。だが、将来に対する見通しをきちんともつてなかつたのではないか。

の柱で成り立っているのだから、片一方だけに必要な設備が大学として本当に必要なのか。

今回の学内協議会に出席した学生の数は、第一回、第二回とも五十名前後であったが、学費という全学的にも大きな問題についての会議としては少ない出席者数といえるだろう。この原因の一つとしては、自治、執行の宣伝不足が挙げられよう。しかし、結局は、学生大会の時と同様、学生の大半の無関心にその大きな理由があるといえよう。また、会議に出席していた学生の発言のなかにも明らかに準備不足であるものが見られた。

これらの点は今後の課題として自治委員会及び執行委員会により一層の努力を求めたい。

理事会側の発言にも問題があった。学生側の質問に対する回答のなかに論点からずれているものや、理解しづらいものがみられた。学生によく分かる明解な回答をすべきであろう。

最終的に出た三者（学生、教職員、理事会）の結論は、学生：学校が苦しいのは認めるが学費値上げは別問題である。しかし現状では止むを得ず、年十五万ずつ二か年で三十万円の値上げを要求します。理事会：今の提案以上は教育施設の維持の関係から限界である。また学費についてはこれが限界であり学生の

経営の基礎を根本的に改善し

要求はのめない。学内連絡会議などで話し合えばよいと思う。前もって将来計画の内容をこまめに学内報等で知らせていきたい。

大学の現在の経営状態を見てみると、値上げは不可避であるようだ。一度に三十万円もの急激な値上げをするのは非常識であろう。八年間学費を据え置いてきたということ自体は好ましいことではあるが、このような急激な値上げを招く以前に、この八年の間に少しずつでも値上げしてこなかったのか。それが財務をつかさどる法人としての経営努力というものではないだろうか。しかも、入試を目前に迎えたこの時期に急な決定するということは、東薬をめぐらしてきた受験生（特に、推薦受験者）に対する欺きも同然ではないか。

結果的には三十万の値上げを実施することになるのだから、理事側は本当にこの三十万円の重みを痛感し、より一層の経営努力（将来このような値上げのないような、なごの）をするようにがんばってもらうしかない。このまま（以前と同じような）経営では、近い将来、また値上げをするようになるだろう。このままではいままですべて経っても変わりようもなく、大学の経営方針をただただ疑うだけである。少なくとも学費に依存する経営の基礎を根本的に改善し

☆学内協議会

名称：東京薬科大学学内協議会（学内協議会）

趣旨：東京薬科大学の運営が高い教育理念を背景として、学内各層の立場をそれぞれ尊重し、それらの意見を正当に反映される場を保障し、東京薬大の健全かつ民主的な運営を実現することによって、学外から東京薬大の自治を教えられることなく、教育研究の充実と発展とを計ることを目的とする。

構成：協議会は学内各層すべてに開かれたものであるが当面次により発足する。

- 1 構成員 学生、教職員、法人
- 2 メンバー
 - 1 学生自治会執行委員、自治会員
 - 2 学長、部長、その他の教職員を代表するもの
 - 3 理事、常務理事、担当理事など
 - 3 議長団 学生、教職員、法人の各側から1名ずつ選出
 - 4 書記団 以上の3者の各々から1名ずつ選出
 - 5 オブザーバー すべての東京薬科大学構成員はオブザーバーとして参加でき、必要に応じて議長団

ていかなくはならないのではない。

の承認のもとに発言することができるといえる。

性格：本協議会は三者のいずれかの要請により開催される。議題については三者の合意により採択され、それに基つき対等の立場で協議する。その結果一致した確認事項については、三者がそれぞれ尊重するとともにその討議の経過内容は全学に公表する。また三者は各々の権利義務の遂行にあつた手はこれを反映させる。なお協議内容については三者のうち二者以上が必要と認めるとき、本協議会は東薬を構成する全員が参加できる全学的な協議会を開くものとする。

編集後記

現在の時刻は一時四十八分、日付は十一月一日です。やつと号外が発行となりました。やつと、いまから印刷だぜよ！今回は原稿書くの疲れちゃった。やつぱり、締切までの時間はたっぷりほしいのさ！皆さん今回は本当にご苦労さん。これからもよろしく。学内協は本当にいい経験でした。（天才編集長の黒木）

☆一連の重要会議に出席してみても、大学の内部事情が少しは見えてきたが、まだまだ不透明な所も多い。まるで某国の政治を見ているようだ。とにかく近頃は忙しい（中道）

新聞会会員 募集中！！